

2022年6月29日

りそなアセットマネジメント株式会社

お客さま本位の業務運営にかかる取組状況の公表について

りそなアセットマネジメント株式会社(以下、「当社」)は、株式会社りそなホールディングスが公表する「りそなフィデューシャリー・デューティー基本方針(以下、「基本方針」)のもと、これまでお客さま本位の業務運営に関する具体的な取組状況および成果指標(KPI)を公表してまいりました。

本資料では、『顧客本位の業務運営に関する原則』の改定に伴い2021年6月に策定した、お客さま本位の業務運営にかかる取組方針¹(以下、「取組方針」)に基づき、2021年度の当社の取組状況について公表いたします。詳細につきましては次頁以降をご参照ください。

当社は、当社のパーパス(存在意義)である「将来世代に対しても豊かさ、幸せを提供」することを通じ、お客さまに喜んで選んでいただける資産運用会社を目指しています。そして、パーパスの実現のため、またその前提となる資産運用会社の当然の責務として、引き続きお客さま本位の業務運営を行ってまいります。

以上

¹ 当社が2021年6月に策定した「お客さま本位の業務運営にかかる取組方針」につきましては当社ホームページの「お客さま本位の業務運営」(下記 URL)からご参照ください。

<https://www.resona-am.co.jp/investors/fiduciary.html>



2021 年度の取組状況

1. お客さまの最善の利益の追求

当社では、「高度専門性を有するプロフェッショナルが、厳格な職業倫理の下、自由闊達に活躍できる企業文化」を醸成するため、2021 年度において以下の具体的施策を実施いたしました。

- ・当社のパーパス（存在意義）や、私たちがどのようなバリュー（価値観）を大切にし、どのような企業文化のもとで、どのようなビジネスモデルによってパーパスを実現していくのかについて、「りそなアセットマネジメントのアイデンティティー」として明確化しました。

〈りそなアセットマネジメントのアイデンティティー〉



※信託銀行モデルとは、すべての運用プロダクトへの長期コミットメントと長期的視野での経営判断を通じて、受託者責任に応えるビジネスモデルです。

- ・顧客本位の業務運営に関する原則にかかる取組方針に沿い、投資信託協会・投資顧問業協会の「資産運用業宣言 2020」に賛同表明し、取組方針を策定・公表しました。

(https://www.resona-am.co.jp/investors/pdf/shisanunyo_torikumi.pdf)

- ・プロフェッショナルとしての能力を発揮できる環境を構築する施策として、以下を実施しました。
 - ✓ 高度専門性の追求のための人事制度・運用評価体系の継続的な見直し
※詳細は、本紙8～9頁の「6.従業員に対する適切な動機付けの枠組み等」をご参照ください。
 - ✓ 人材育成強化のため、入社2年目までの従業員向け研修プログラムの拡充
 - ✓ 夜間取引の拡大に備えたトレーディング担当部署の人員強化 等

《お客さまの最善の利益を図ることによる、安定した顧客基盤と収益の確保について》

- ・当社は、お客さまの最善の利益の追求のために、「高品質なインデックス運用」、「長期的に再現性のある超過収益を生み出すことのできるアクティブ運用」を提供いたします。また、アセットマネジメントの重要性が増す中、「ユニバーサルオーナーシップ」の概念を取り入れ「責任投資」活動にも一層注力いたします。
- ・当社運用プロダクトについては、運用担当部署での定例的なモニタリングの他、四半期毎に開催される「運用評価委員会」にてパフォーマンス評価・分析が報告されます。また、2021年度より、「ファンドガバナンス会議」を開催し、新規設定ファンドの商品性や既存ファンドの運用品質の適切性について検証を行いました。

※パフォーマンス実績数値については、別紙をご参照ください。

●アクティブ運用

- ・ファンド毎に月次で実施される「運用品質管理ミーティング」にて投資行動やパフォーマンス等の定点観測を行い、継続的に運用の高度化に努めています。
- ・長期運用実績（10年超）のある当社の主力アクティブ運用においては、すべてのファンドでベンチマーク対比の超過収益を獲得しました。
- ・さらなる運用の高度化を目指し、インハウスでのインパクト投資プロダクトとして公募投資信託「日本株式インパクト投資ファンド」および「グローバルインパクト投資ファンド(気候変動)」を設定し、運用を開始しました。
- ・また、インハウスでのグローバル運用の拡充のため、上述の「グローバルインパクト投資ファンド(気候変動)」を含め、グローバル株式を投資対象とする2つのアクティブ運用を新規に開始しました。
- ・同様に、グローバル債券を投資対象とする2つのアクティブ運用を新規に開始しました。運用開始にあたり、グローバル社債投資の体制整備を実施しました。
- ・グローバル株式における効率的な非財務情報の分析のため、AI技術（テキスト・マイニング手法）を活用した銘柄スクリーニングツールを開発しました。

●バランス運用

- ・原則週次で実施される「投資戦略ミーティング」にて資産配分戦略にかかる投資判断を行うと同時に、投資行動やパフォーマンスの定点観測を行っています。



- ・リスク許容度別にシリーズで複数組成するファンドについては、各ファンドのリスク許容度に沿ったパフォーマンスを実現しました。その他のバランスファンドにおいても投資目的に沿ったリターンを実現しました。

●インデックス運用

- ・月次で実施される「運用品質管理ミーティング」にてインデックス運用にかかる投資行動やパフォーマンス等の定点観測を行い、継続的に運用の効率化や改善策を検討しています。
- ・当社のインデックス運用においては、投資対象にかかわらず長期的(10年超)にベンチマーク対比での乖離は殆ど生じておりません。
- ・公募インデックスファンドについても、トラッキングエラーは投資対象を鑑み妥当な水準となっています。
- ・不動産担保証券(MBS)および中国国債への投資を新規に開始しました。
- ・当社の AI 技術を活用した情報開示エンゲージメントが高い評価を受け、大手機関投資家から TOPIX パッシブ運用にかかるエンゲージメント強化型パッシブを受任、10月から運用を開始しました。

●責任投資

- ・対話・エンゲージメントはオンライン中心に継続的に行い、2021年度は、昨年度実績件数を上回る活動を実施しました。なお、当社では企業に過度な負担を強いることがないよう、エンゲージメント活動のクオリティを重視し、適正な活動数の維持を目指しています。

	2022年3月(件数/企業数)	2021年3月(件数/企業数)
エンゲージメント活動数	453/333	373/267

- ・2022年1月に発行したステewardシップレポートについては、株式インパクトマネジメント等のコンテンツを大幅に拡充しました。
- ・コーポレート・ガバナンスコードの改訂により上場会社に対して一層のサステナビリティに対する考慮が求められたことを踏まえ、対話・エンゲージメントにはサステナビリティガバナンスも含めて対応しました。
- ・議決権行使では、賛成の場合も HP 上で全件事由開示を行い、開示強化を図りました。

当社は、組成した公募ファンドのすべてについて、継続的な運用パフォーマンスの改善と情報提供等その他運用サービスの充実を通じ、お客さまへの長期にわたる付加価値の提供を目指しています。

このような取組みを継続することにより、お客さまから支持され選んでいただける運用会社となり、結果として当社が設定する公募ファンドの残高拡大に繋がると考えています。当社はすべての公募ファンドについて、一定の残高規模を目指しています。

	2022年3月	2021年3月
純資産総額100億円以上のファンド数	22	20
全体のファンド数に占める割合	32.4%	34.5%

2、利益相反の適切な管理

利益相反管理方針等に基づく管理状況については、取組方針に基づき、半期毎に当社の経営会議および取締役会への報告を実施しました。

《利益相反の可能性のある具体的なケースについて》

- ・運用部門に対する当社グループの法人営業部門からの不当な干渉・圧力等の有無について継続的なモニタリングを実施し、該当事例はありませんでした。
- ・また、議決権行使基準および行使結果について、「責任投資検証会議」にて第三者による妥当性検証を実施しています。

3、手数料等の明確化

- ・2021年度は、公募ファンドを9ファンド新規に設定しました。いずれも「ファンドガバナンス会議」にて、手数料等について第三者による妥当性の検証を実施しています。
- ・ファンドの手数料等については、ファンドの目論見書にその手数料の種別ごとに料率を記載するとともにその対価の内容についても記載しています。
- ・既存ファンドの目論見書において、マザーファンドで上場投資信託(ETF)を保有するファンド等について、信託報酬率を補完する情報(実質的な信託報酬率)を強調して開示する方針に変更し、随時変更対応を実施しています。
- ・またお客さまへの適切な手数料での商品の提供を目的として、販路に応じた販売代行手数料の設定など、当社の投資信託の一物一価に関する考え方をサービスベースで改めて整理しました。

4、重要な情報の分かりやすい提供

- ・販売時使用資料*の作成・改訂の際には、お客さまが投資判断を行う際に特に重要な情報と考えられる内容(以下、「重要な投資情報」)について、分かりやすさと網羅性を意識して作成しています。
- ・公募/私募投資信託のマンスリーレポート全般において、お客さまの視認性を考慮し、フォント種類の変更やフォントサイズの拡大を実施しました。
- ・開示強化の施策として、当社が組成する公募投資信託の中で、ESG ファンド/インパクトファン

ドの定義を明確化しました。²

- ・ ESG ファンドについては、当社の ESG への取組みとその商品性についてお客さまに分かりやすくお伝えするために、「ESG ディスクロージャーレポート」を順次作成しています。
- ・ インパクトファンドについては、インパクト評価を開示するため、インパクトレポートの作成を開始し、日本株式インパクト投資ファンドのインパクトレポートについては 2022 年 6 月に発行しました。https://www.resona-am.co.jp/fund/120021/pdf/impact_report.pdf
- ・ ESG ファンド／インパクトファンドについては、今後は目論見書やマンスリーレポート等での開示を進めていく方針です。

※販売時使用資料は、当社ファンドの取扱販売会社（以下、「取扱販売会社」）が、販売・推奨時に利用する運用会社作成資料（販売用資料、目論見書および重要情報シート等）をいいます。

《重要な投資情報に含まれる内容について》

- ・ 重要な投資情報には以下の内容を含み、公募ファンドの販売時使用資料の作成・改訂の際には、当該情報の分かりやすさと網羅性を意識して作成しています。

（重要な投資情報）

- ✓ 運用方針、運用目的
- ✓ 運用スキーム
- ✓ 運用手法、投資対象
- ✓ 内包されるリスクとその内容
- ✓ 今後想定される値動き（過去一定期間における収益率（平均、最低、最高））
- ✓ 設定・解約の条件
- ✓ 運用に付随するコストおよびその対価
- ✓ 販売対象として想定する顧客層

※取組方針に基づき、2021 年度より重要情報シートについての対応を実施しています。

《複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨等する場合について》

当社は、商品・サービスをパッケージとしてお客さまに販売・推奨することはいたしません。

《お客さまの取引経験や金融知識を考慮の上、誠実な内容の情報提供を行うことについて》

- ・ 販売時使用資料作成時には、重要な投資情報については、取引経験や金融知識にかかわらず、どのようなお客さまにもご理解いただけるよう、明確かつ平易な言葉で記載するとともに、記載内容は改訂のタイミングで継続的な見直しを行っています。
- ・ 公募ファンドの運用レポートについても、お客さまご自身でファンドの運用状況などを把握で

² 当社がインパクトファンド/ESG ファンドと位置付ける公募ファンドについては下記をご覧ください。

https://www.resona-am.co.jp/oshirase/2022/pdf/220128_o.pdf

きるよう、運用経過やパフォーマンスの要因について分かりやすく記載しています。

- ・取扱販売会社に対し、当社ファンドの説明会などを実施する際においては、推進面での情報提供に偏ることなく、内包するリスク等の重要な投資情報についても十分な情報提供を行っています。

《金融商品・サービスの複雑さに見合った情報提供について》

- ・劣後債等へ投資を行うファンドにおける債券種別特有のリスクに関する情報提供について、平易かつ丁寧な表記を用いて作成しました。
- ・公募ファンドについては、運用プロセス図等の表現をより分かりやすいものにするため、継続的に変更・改善を行っています。

《提供する情報を重要性に応じて区別することについて》

- ・ファンドの販売時使用資料の作成にあたっては、重要な投資情報のうち、以下の内容についてフォントサイズ、太字もしくは赤字で強調した上で作成しています。
 - ✓ 運用方針、運用目的
 - ✓ 運用手法、投資対象
 - ✓ 運用に付随するコストおよびその対価 等

5、お客さまにふさわしいサービスの提供

- ・当社は、商品ラインアップのやみくもな拡充を行わず、真のお客さまニーズにお応えできるもの、かつ長期的にコミットすることが可能なファンドを厳選して組成するという方針を掲げています。
- ・「運用委員会」での協議の結果、2021年度は下記の公募ファンドを設定しました。
 - ✓ 円建グローバル公社債ファンド(愛称：円咲)
 - ✓ Smart-i ゴールドファンド(為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)
 - ✓ りそな日経 225 インデックス
 - ✓ 日本株式インパクト投資ファンド
 - ✓ グローバルインパクト投資ファンド(気候変動)
 - ✓ 九州 SDGs・グローバルバランス(愛称：九州コンチェルト)
 - ✓ 国内株式 ESG インデックス・オープン
 - ✓ 先進国株式 ESG インデックス・オープン
 - ✓ りそな国内リートインデックス(ラップ専用)

- ・ファンドの組成時には、「運用委員会」にて販売対象として想定する顧客層も含め協議を行ったうえで設定しています。また、公募ファンドすべてについて、組成時に商品性が適切に検討さ

れているか、運用品質に問題がないか等について、「ファンドガバナンス会議」にて検証を実施しています。

《金融商品・サービスの販売・推奨等に関し留意すべき事項について》

- ・取扱販売会社の担当者が、お客さまの適合性やライフプランに沿った提案が可能となるよう、販売会社向けファンド説明会等の実施を通じ、重要な投資情報について十分な情報提供を行いました。
- ・また、取扱販売会社の担当者のフォローアップ、お客さまご自身での運用状況の把握に資する情報として、アクティブファンドを中心に公募ファンドの運用実績等の各種レポート（2021年度 21件、うち動画 2件）および市場環境レポート（2021年度 76件）を継続的に提供しました。

《複数の金融商品・サービスをパッケージとして販売・推奨する場合について》

当社は、商品・サービスをパッケージとしてお客さまに販売・推奨することはいたしません。

《販売対象として想定するお客さまの属性の特定・公表等について》

- ・公募ファンドにおいて、「重要情報シート」の中で想定顧客層についてファンドごとに特定・記載し、販売会社を通じて順次開示を行っています。

《複雑又はリスクの高い金融商品や特定のお客さまの属性に対しての商品の販売・推奨等について》

当社は、特に商品の複雑性を高めると考えられる、仕組債や複雑なデリバティブ取引等を主たる投資対象とする公募ファンドについては、組成をしておりません。

《従業員がその取り扱う金融商品の仕組み等に係る理解と、お客さまへの基本的な金融取引などに関する情報提供について》

- ・お客さまの資産形成に役立つ情報や現在の市場環境等に関して販売会社本部および営業店等での研修・勉強会講師対応を 719 ヶ店向けに実施しました。
- ・ファンドの運用状況や市場環境に関して、お客さまセミナーでの講師対応(年間 28 件)を行いました。
- ・未来資産形成ラボにて、りそなグループ内外の金融機関の販売担当者に対して、中立的な視点に基づくゴールベース提案手法などの研修プログラムの提供を行いました。

6、従業員に対する適切な動機付けの仕組み等

- ・運用担当者については、主担当ファンドの中長期のパフォーマンス実績等から定量的評価を実施し、高度専門性を有する所属長の定性的評価を考慮に入れ、「専門系評価委員会」での協議を



経て人事評価を行いました。

- ・2021年度は、運用者評価体系に対する委託者評価の向上や優秀な運用者のモチベーションアップを目的として、ファンドパフォーマンス評価の長期化や繰延インセンティブ制度の導入を実施しました。
- ・最低限の専門性を維持する施策として、当社では全従業員に対して証券アナリストの資格取得を奨励しています。2022年3月末時点での、証券アナリスト資格保有者数および運用関連部署での保有比率は以下の通りです。

	2022年3月	2021年3月
証券アナリスト資格保有者数と割合	81名 (65.3%)	78名 (74.3%)

※運用関連部署は、運用戦略部、インデックス運用部、株式運用部、債券運用部、責任投資部およびトレーディング部を指し、2022年3月末で124名が在籍しています。

《お客さま本位の業務運営について従業員への周知と支援・検証するための体制について》

- ・お客さま本位の業務運営に関する状況については、6月および11月に当社の経営会議および取締役会に報告を実施いたしました。
- ・社外取締役を構成員とする「ファンドガバナンス会議」を2021年4月に設置、関連する規程等を整備しました。

以上



【別紙】

年金投資基金信託

- アクティブ運用

過去5年（年率換算）

資産名	国内株式					
ファンド名	株式口A	株式口L	株式口W	株式口O	株式口V	株式口Z
超過収益率（対ベンチマーク）	2.81%	0.57%	3.12%	5.23%	-1.21%	15.24%
シャープレシオ	0.75	0.52	0.63	0.54	0.42	0.73
インフォメーションレシオ	0.95	0.15	0.47	0.86	-0.25	0.73
資産名	国内債券		外国債券	外国株式		
ファンド名	公社債口A	公社債口D	外証券口A	総合口O		
超過収益率（対ベンチマーク）	0.11%	0.13%	-0.04%	10.71%		
シャープレシオ	0.13	0.14	0.77	1.31		
インフォメーションレシオ	0.50	0.56	-0.06	1.25		

過去10年（年率換算）

資産名	国内株式					
ファンド名	株式口A	株式口L	株式口W	株式口O	株式口V	株式口Z
超過収益率（対ベンチマーク）	2.02%	1.31%	2.12%	2.85%	0.24%	
シャープレシオ	0.85	0.74	0.75	0.79	0.67	
インフォメーションレシオ	0.73	0.38	0.39	0.53	0.06	
資産名	国内債券		外国債券	外国株式		
ファンド名	公社債口A	公社債口D	外証券口A	総合口O		
超過収益率（対ベンチマーク）	0.22%	0.28%	0.30%			
シャープレシオ	0.72	0.72	0.75			
インフォメーションレシオ	0.95	0.98	0.33			

過去20年（年率換算）

資産名	国内株式					
ファンド名	株式口A	株式口L	株式口W	株式口O	株式口V	株式口Z
超過収益率（対ベンチマーク）	1.16%	1.48%		1.18%		
シャープレシオ	0.36	0.35		0.43		
インフォメーションレシオ	0.41	0.38		0.21		
資産名	国内債券		外国債券	外国株式		
ファンド名	公社債口A	公社債口D	外証券口A	総合口O		
超過収益率（対ベンチマーク）	0.15%	0.22%	0.26%			
シャープレシオ	0.77	0.79	0.52			
インフォメーションレシオ	0.51	0.52	0.32			

- インデックス運用

過去5年（年率換算）

資産名	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
ファンド名	公社債口C	株式口C	外証券口O	外証券口C
超過収益率（対ベンチマーク）	0.01%	0.04%	0.00%	-0.05%
トラッキングエラー	0.04%	0.09%	0.16%	0.07%

過去10年（年率換算）

資産名	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
ファンド名	公社債口C	株式口C	外証券口O	外証券口C
超過収益率（対ベンチマーク）	0.01%	0.07%	0.00%	-0.07%
トラッキングエラー	0.04%	0.17%	0.14%	0.08%

過去20年（年率換算）

資産名	国内債券	国内株式	外国債券	外国株式
ファンド名	公社債口C	株式口C	外証券口O	外証券口C
超過収益率（対ベンチマーク）	0.01%	0.10%	0.01%	-0.08%
トラッキングエラー	0.05%	0.21%	0.20%	0.12%

公募ファンド

- アクティブ運用

過去5年（年率換算）

ファンド名	FWリそな円建債券 アクティブファンド	FWリそな国内株式 アクティブファンド	FWリそな先進国債券 アクティブファンド	FWリそな先進国+ 新興国債券 アクティブファンド
ファンド収益率	-0.19%	7.69%	3.48%	2.97%
シャープレシオ	-0.07	0.53	0.71	0.50
ファンド名	FWリそな先進国株式 アクティブファンド	FWリそな先進国+ 新興国株式 アクティブファンド	FWリそな絶対収益 アクティブファンド	
ファンド収益率	14.51%	13.22%	-1.00%	
シャープレシオ	0.74	0.70	-0.54	

- バランス運用およびインデックス運用

過去5年（年率換算）

ファンド名	りそなラップ型ファンド（愛称：R246）			DCグローバル バランスファンド
	安定型	安定成長型	成長型	
ファンド収益率	1.55%	4.38%	7.82%	1.95%
シャープレシオ	0.49	0.59	0.55	0.59

過去5年（年率換算）

ファンド名	FWリそな国内リート インデックスオープン	FWリそな先進国リート インデックスオープン	FWリそな国内債券 インデックスファンド	FWリそな国内株式 インデックスファンド
ファンド収益率	6.04%	9.61%	-0.17%	7.22%
ベンチマーク収益率	6.52%	11.13%	0.13%	7.62%
トラッキングエラー	0.10%	0.33%	0.05%	0.08%
ファンド名	FWリそな先進国債券 インデックスファンド (為替ヘッジなし)	FWリそな先進国債券 インデックスファンド (為替ヘッジあり)	FWリそな新興国債券 インデックスファンド	FWリそな先進国株式 インデックスファンド
ファンド収益率	3.20%	-0.17%	-0.64%	14.90%
ベンチマーク収益率	3.62%	0.47%	1.79%	15.82%
トラッキングエラー	0.48%	0.26%	1.54%	0.38%
ファンド名	FWリそな新興国株式 インデックスファンド	FWリそな国内リート インデックスファンド	FWリそな先進国リート インデックスファンド	
ファンド収益率	6.28%	6.03%	9.61%	
ベンチマーク収益率	8.12%	6.52%	11.13%	
トラッキングエラー	1.07%	0.10%	0.33%	

※年金投資基金信託は、株式会社りそな銀行が年金信託契約に基づき提供しているファンドであり、当社が株式会社りそな銀行より運用の再委託を受けているものを記載しています。

※年金投資基金信託の収益率については各種のコストは控除前で計算しています。

※シャープ・レシオは短期金利(有担保コール)控除後の収益率を、当該収益率の標準偏差で除することにより得られる数値です。

※インフォメーション・レシオは、ベンチマークを上回った収益率(超過収益率)の平均を、超過収益率の標準偏差で除することにより得られる数値です。

※年金投資基金信託は代表的なファンド、公募ファンドについては5年以上の運用実績があるものを掲載しています。